

6月度(例会)個人山行報告書			報告者	谷口	参加メンバー	CL 館谷 北浦、藤本、 谷口(記録)
			報告日	7/11		
山域	尾瀬周辺	山行日	2018/6/21(金)			
山名	平ヶ岳					
山行目的	百名山踏破			コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



5/25(木) 曇時々晴  
1:00 本社P集合、出発  
8:40 登山口着  
10:20 下台倉山  
11:00 台倉山  
12:50 池ノ岳  
13:10 平ヶ岳山頂  
  
13:40 下山開始  
14:00 池ノ岳  
15:20 台倉山  
16:00 下台倉山  
17:20 登山口着  
19:20 白銀の湯(温泉)  
26:00 本社P着、解散

### 〈山行報告〉

二日間で雨飾山・平ヶ岳を登る予定だったが土曜日は天気予報がすぐれなかったため、金曜日に平ヶ岳のみを登る日程に変更。登山口のアクセスは新潟側からが素直なルートだが、登山口のある国道352号はなんと金曜の正午まで冬期通行止めであったため、東名経由福島県方向から向かい、帰りは新潟方向から帰るといったルートになった。

登山口から林の中を進むとすぐに尾根道に出る。急登で日当たりが良いためかなり消耗しながら下台倉山まで進むと、霞がかかった平ヶ岳と池ノ岳の姿が遠くに見えるようになる。比較的ゆるくなった道を行き下台倉山、台倉山を越えると林の中に入り残雪が出てくる。台倉清水を超えてすぐのあたりは倒木があり、また残雪で木道が見えなかったためルートを外れてしまった。その他も木道を探しながら進んだ。最後に少し急な登りを超えて池ノ岳へ到着。もうひとがんばりして平ヶ岳山頂へ到着。帰りはくたびれながらも頑張った。

なかなか長く大変なルートだったが、山頂付近は展望もあり、湿原もあり、さすが100名山と感ずる山だった。また、6月末では残雪があり、登山等の整備がされていないため迷いやすい。秋ころが行動しやすく登りやすい山だと感じた。

確認  
(リーダー)

### 〈リーダー所見〉

作成  
(報告者)

コースタイム11時間超のロングルートにも関わらず、テント場・小屋がなく、日帰り限定のため、百名山最難関とも言われている平ヶ岳。愛知からはアプローチの遠さも相まって、非常にハードな山行でした。寝不足でバテバテの中、なんとか無事に下りてこられて良かったです。お疲れ様でした。



冬期通行止めに伴う見事な迂回ルート



登山口駐車場、すれ違った登山客はいなかった



最初の尾根道からはまだ平ヶ岳は見えない



台倉山付近からは残雪があり迷いやすい



池ノ岳山頂の姫ノ池、奥が平ヶ岳



平ヶ岳山頂に何とか到着！



三角点で記念写真



眺めの良いところでもう一枚